

通学

- 実現したい将来の姿
- ・子どもの時から発達段階に応じ、定期的に安全教育を受けることで、安全利用の意識が根付きます。
 - ・ルールをしっかりと理解し、安全な通学路を安心して通学できます。
 - ・ルールを守り安全に利用することで、周りの歩行者なども安心して暮らせます。
 - ・子どもの時から、自転車のことをしっかりと理解しているため、大人になっても正しい自転車利用を続けていくことができます。
 - ・自転車が利用できる時には、優先して自転車を利用する習慣を定着させることで、市民にとってもまちにとってもメリットのある暮らし方を実現します。

【資料2】

活用 場面	事業 区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容	令和7年度実績		令和8年度予定		事業実施関係団体 担当課	事業実施関係団体 関係団体
						取組状況	目標及び達成状況	予定内容	目標		
① 通学	安全 教育	①交通安全教育の継続・充実 ※【資料3】で補足説明	1-1	子どもへの交通安全教室の実施	・小中学校、高校等へ、対象年齢や交通事故情勢等にあわせた交通安全教室を実施するとともに、自転車の整備・点検について周知する。	【実施数及び参加人数】 合計：104回 7,993人 (内訳) ・小学校：89回 5,486人 ・中学校：11回 1,851人 ・高等学校等：4回 656人	【目標】 子どもの交通事故死者数0人 【達成状況】 達成	継続実施	子どもの交通事故死者数0人	豊橋市(安全生活課)	—
			1-2	200日間自転車無事故・無違反ラリー	・自転車の交通安全意識の高揚と交通事故防止を目的とし、市内の小中学校・高校で200日間自転車無事故・無違反ラリーを実施する。	【参加校】 市内中学校・高校 計25校 【期間】 5/15-11/30	【目標】 ラリー達成率アップ 【達成状況】 未達(達成校なし)	継続実施 (100日間自転車無事故・無違反ラリーとして実施) 【期間】 9/1-12/9	ラリー達成率アップ	豊橋警察署	—
			1-3	豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の推進	・条例の周知を図っていくとともに、自転車の交通事故が多い世代である高校生の交通安全対策をより推進するため、行政・学校が一体となって交通事故削減のための取り組みを行う。	・自転車安全利用モデル校(豊丘高等学校)等の各校と連携し、啓発活動を行った。	【目標】 高校生の交通事故死者数0人 【達成状況】 達成	継続実施	高校生の交通事故死者数0人	豊橋市(安全生活課)	・愛知県 ・市内高等学校 ・豊橋警察署 ・損害保険会社 ・保険代理店
	意 識 啓 発	②指定通学路一斉点検の実施と対策の展開	1-4	通学路一斉点検	・通学路の点検を行い、その結果による課題に対して、個別に安全対策を進める。	・市内12ブロックのうち、1～6ブロックの学校で指定通学路点検を実施した。 ・各小中学校の点検結果・要望事項を集約し、協議会で対策を検討した。 ・空間・予算を踏まえて、可能な対策を実施した。 ・希望する小中学校へ、要望事項に関する説明会を実施した。	—	継続実施 (7～12ブロックの学校で指定通学路点検を実施)	—	豊橋市(学校教育課)	・豊橋市(安全生活課) ・豊橋市(道路維持課)
		③自転車に乗り続けることのメリットの周知・啓発	1-5	自転車利用促進リーフレットの配付	・市内の高校及びその附属中学校、自転車販売店等へ、自転車利用促進リーフレットを配付する。	・新入生(約3,600名)へリーフレット「豊橋CITY CYCLEスタートブック」を配付し、自転車通行の原則や注意事項、自転車利用のメリットについて周知した。	—	継続実施	—	豊橋市(都市交通課)	—
		④自転車を放置させないための指導・啓発	1-6	自転車放置対策推進事業	・放置自転車を防止するための指導・啓発活動を行う。 ・無料駐輪場の整理等、維持管理を行う。 ・市営駐輪場の利用促進策の検討・実施を行う。	・学生に向けた放置規制区域案内、定期利用案内の学校への配布 ・ビクトを強調した放置禁止区域案内看板への取替 ・サイクルパトロールによる自転車放置禁止の警告札貼り付け ・豊橋市シルバー人材センター職員による無料駐輪場の整理と利用者への適正利用呼びかけ 【放置自転車等撤去台数】 901台 (内訳) ・自転車：878台 ・原動機付自転車：23台 【市営駐車場利用者数】 1,453,969人 (内訳) ・豊橋駅東口：892,987人 ・豊橋駅西口：420,643人 ・二川駅南口：140,339人	【目標①】 放置自転車減少 【達成状況①】 未達 【目標②】 市営駐輪場利用者数増加 【達成状況②】 達成	継続実施	・放置自転車減少 ・市営駐輪場利用者数増加	豊橋市(土木管理課)	指定管理者： ・(株)日本メカトロニクス 委託業者： ・(公社)豊橋市シルバー人材センター

令和7・8年度自転車関連実施事業

通学

○ 実現したい将来の姿

- ・子どもの時から発達段階に応じ、定期的に安全教育を受けることで、安全利用の意識が根付きます。
- ・ルールをしっかり理解し、安全な通学路を安心して通学できます。
- ・ルールを守り安全に利用することで、周りの歩行者なども安心して暮らせます。
- ・子どもの時から、自転車のことをしっかり理解しているため、大人になっても正しい自転車利用を続けていくことができます。
- ・自転車が利用できる時には、優先して自転車を利用する習慣を定着させることで、市民にとってもまちにとってもメリットのある暮らし方を実現します。

活用 場面	事業 区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容	令和7年度実績		令和8年度予定		事業実施関係団体 担当課	事業実施関係団体 関係団体
						取組状況	目標及び達成状況	予定内容	目標		
① 通学	支援・補助	⑤自転車通学者のヘルメット着用に関する支援	1-7	豊橋市ヘルメット購入補助金	・市内在住者に対し、ヘルメット購入費の一部を補助することで自転車ヘルメット着用を促す。 (ヘルメット購入費用の2分の1上限2,000円)	【補助金利用件数】2,514件 (内訳) ・未就学児:393件 ・小学生:775件 ・中学生:356件 ・高校生:67件 ・その他:923件 【ヘルメット着用率】30.4%	【目標】ヘルメット着用率上昇 【達成状況】未達(前年度比微減)	継続実施	ヘルメット着用率上昇	豊橋市(安全生活課)	・市内の自転車販売店 ・市内の制服取扱店
			1-8	中高生のヘルメット着用率の向上	中高生のヘルメット着用率の向上のための啓発を行う。	・高校にヘルメットラックを展示した。 ・校門前で教員と連携し、着用呼びかけ活動を行った。 ・ヘルメット助成金の広報啓発活動を行った。	—	継続実施	—	豊橋警察署	—
	情報提供	⑥安全・快適な移動経路などの情報収集・提供	1-9	【再掲】子どもへの交通安全教室の実施	・小中学校、高校等へ、対象年齢や交通事故情勢等にあわせた交通安全教室を実施するとともに、自転車の整備・点検について周知する。	【実施数及び参加人数】 合計:104回 7,993人 (内訳) ・小学校:89回 5,486人 ・中学校:11回 1,851人 ・高等学校等:4回 656人	【目標】子どもの交通事故死者数0人 【達成状況】達成	継続実施	子どもの交通事故死者数0人	豊橋市(安全生活課)	—
			1-10	【再掲】自転車利用促進リーフレットの配付	・市内の高校及びその附属中学校、自転車販売店等へ、自転車利用促進リーフレットを配付する。	・新入生(約3,600名)ヘリーフレット「豊橋CITY CYCLEスタートブック」を配付し、自転車通行の原則や注意事項、自転車利用のメリットについて周知した。	—	継続実施	—	豊橋市(都市交通課)	—
		⑥安全・快適な移動経路などの情報収集・提供(再掲)	1-11	自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)	・バス車両後方左側に「自転車は左側通行」のステッカーを貼ることに よって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴える。	豊橋営業所のバス50台にステッカーを貼付し、啓発を行った。	—	継続実施	—	豊鉄バス	—

令和7・8年度自転車関連実施事業

通勤

○ 実現したい将来の姿

- ・企業自身が自転車通勤のメリットを理解し、積極的に従業員に対する利用啓発を展開します。
- ・毎日の通勤がリフレッシュや運動の時間になり、心も体も健康で明るく通勤しています。
- ・朝夕通勤時間帯の道路混雑が改善し、さらに自転車も車道を走りやすくなります。
- ・多くの企業が「健康経営」を実現し、働く場としての”とよはし”の魅力が高まります。
- ・働く世代の生活習慣病などの有病率が低下し、市の医療費負担も軽減されます。

活用 場面	事業 区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容	令和7年度実績		令和8年度予定		事業実施関係団体 担当課	事業実施関係団体 関係団体
						取組状況	目標及び達成状況	予定内容	目標		
② 通 勤	安 全 教 育	①企業を通じた交通安全教室の実施・充実	2-1	県境地域の企業に対するニュースレター発行	県境地域通勤環境改善推進協議会(事務局・豊橋市(都市交通課))において、県境地域の企業を通して、従業員に自転車通勤の利点等を周知する。	自転車通勤の利点やヘルメット購入補助金に関する情報を掲載したニュースレターを発行した。	—	継続実施	—	豊橋市(都市交通課)	—
	意 識 啓 発	②企業での自転車活用促進に関する啓発	2-2	地域・職域連携推進事業 (とよはし健康マガジンの発行)	・健康経営を実践する市内事業所「とよはし健康宣言事業所」に対し、市の施策や事業等に関する情報提供を行う電子マガジン「とよはし健康マガジン」にて、自転車利用促進に関する記事を掲載する。	・全4回(うち自転車利用促進に関する記事は3回)とよはし健康マガジンを送付し、企業の労働安全衛生担当者を通じて従業員へ周知した。	—	継続実施	—	豊橋市(健康増進課)	・豊橋商工会議所 ・全国健康保険協会愛知支部
			2-3	健康経営推進事業 (とよはし健康宣言事業所認定制度)	・健康経営を実践する市内事業所「とよはし健康宣言事業所」及び健康経営の取組を検討している企業に対し、「とよはし健康マガジン」やホームページ等を用いて、健康経営の取組内容としてエコ通勤を推奨する。	・健康経営の応援メニューの一つとして「エコ通勤の推進」を設置し、市内事業所に周知することによりエコ通勤を推進した。 ・健康経営(従業員の健康)という新しい観点から啓発を行い、職場から自転車利用を促すことで、これまで自転車利用をしてこなかった個人(従業員)に対し、きっかけの提供や動機付けを行うことができた。	—	継続実施	—	豊橋市(健康増進課)	・豊橋商工会議所 ・全国健康保険協会愛知支部
			2-4	環境マネジメントシステム推進事業	・豊橋市エコアクションプラン(第6次)をもとに、とよはしエコマネジメントシステム(T-EMS)の活用等を通じ、エコ通勤を推進する。	【エコ通勤日数】 240,106日	【目標】 エコ通勤実施日数 令和元年度比 6 %以上増加 (=252,832日以上) 【達成状況】 未達(達成率94.9%)	エコ通勤の実施目標の設定及び実施日数の報告を廃止	—	豊橋市(環境政策課)	・豊橋市(職員) ・豊橋市(会計年度任用職員) ・豊橋市(再任用職員)
	支 援 ・ 補 助	③貸付・補助による自転車活用の推進	2-5	自転車損害賠償保険を含む保険の団体扱い	・令和元年10月1日から加入が義務となっている自転車利用者の自転車損害賠償保険等について、保険の募集案内を職員へ行う。	当該保険について、職員への案内及び団体扱いを実施した。	—	継続実施	—	豊橋市(人事課)	—
		④通勤・業務活動でのシェアサイクル利用の促進【新規】 ※【資料4】で補足説明	2-6	官民連携によるシェアサイクルの実証実験	・多様な交通手段の確保として、都市拠点や地域拠点などにおける回遊性向上などに寄与するシェアサイクルの活用に向けた実証実験を実施する。	公有地へのサイクルポートを設置する実証実験の実施に向け、シェアサイクル事業者と調整を行った。	—	継続実施 (実証実験の実施)	—	豊橋市(都市計画課)	シェアサイクル事業者
	情 報 提 供	⑤企業と連携した健康効果の検証	2-7								
		⑥安全・快適な移動経路などの情報収集・提供(再掲)	2-8	【再掲】自転車安全・快適利用啓発事業 (ステッカー貼付)	・バス車両後方左側に「自転車は左側通行」のステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴える。	豊橋営業所のバス50台にステッカーを貼付し、啓発を行った。	—	継続実施	—	豊鉄バス	—

令和7・8年度自転車関連実施事業

買物

○ 実現したい将来の姿

- ・子育て世代でも、高齢者でも、安心して自転車で買物に行けるようになります。
- ・店舗側も積極的に自転車を受け入れるようになり、気軽に使いやすくなります。
- ・気軽に自転車でも買物に出かけるようになり、店舗側にも顧客増加のメリットが生まれます。
- ・中心市街地にも、自転車で集まる人が増えて、まちなかのにぎわいがさらに高まります。
- ・電動アシスト付き自転車がさらに普及することで、重い荷物があるときでも、少し離れたお店に行きたいときでも自転車を利用でき、暮らしやすさが高まります。

活用 場面	事業 区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容	令和7年度実績		令和8年度予定		事業実施関係団体 担当課	事業実施関係団体 関係団体
						取組状況	目標及び達成状況	予定内容	目標		
③ 買物	安全 教育	①店舗を通じた顧客対 象の安全啓発	3-1								
		②交通安全教育など の継続・充実(再掲) ※【資料3】で補足説明	3-2	高齢者への交通安全教 室の実施	・交通安全啓発機材を用いて、高 齢者が楽しんで受講できる教室を 実施する。	【実施数及び参加人数】 15回 368人	【目標①】 高齢者の交通事故死者数 6人以下 【達成状況①】 達成(3人) 【目標②】 受講者数の前年度比増加 【達成状況②】 達成	継続実施	・高齢者の交通事故死者数 6人以下 ・受講者数の前年度比増加	豊橋市(安全生活課)	—
		③貸付・補助事業と連 携した安全啓発の実施	3-3	ヘルメット着用啓発チ ラシの配付	・幼児、小中学生の保護者向けに、 ヘルメット着用啓発チラシを配付 する。	子どものヘルメットを購入する際のヘルメット 購入補助金の申請時に、保護者向けのチラシ を配付した。	—	継続実施	—	豊橋市(安全生活課)	—
	意識 啓発	④買物交通を健康づく りの機会に活かす自転 車活用の周知	3-4	自転車活用による健康 づくりの啓発	・自転車利用による健康関連の記 事をホームページやチラシ等により 周知する。	市の施策や事業等に関する情報提供を行う豊 橋市(健康増進課)発行の電子マガジン「とよは し健康マガジン」にて、自転車利用促進に関す る記事を掲載し、啓発を行った。	—	継続実施 (全4回の記事掲載)	—	豊橋市(都市交通課)	豊橋市(健康増進課)
	支援・ 補助	⑤貸付・補助による自 転車活用の推進(再 掲)	3-5								
	情報 提供	⑥安全・快適な移動経 路などの情報収集・提 供(再掲)	3-6	サイクルトレイン等PR	・サイクルトレインやサイクルピット 等の情報をリーフレット等に掲載 し、PRを図る。	道の駅とよはしや観光案内所等において、サイ クルトレインやサイクルピットについて掲載した サイクリングマップ「はしってみ輪とよはし」を 配布した。	—	継続実施	—	豊橋市(都市交通課)	—
			3-7	【再掲】自転車安全・快 適利用啓発事業 (ステッカー貼付)	・バス車両後方左側に「自転車は左 側通行」のステッカーを貼ることに よって、自転車利用者に交通ルー ルとマナーを訴える。	豊橋営業所のバス50台にステッカーを貼付 し、啓発を行った。	—	継続実施	—	豊鉄バス	—

令和7・8年度自転車関連実施事業

レクリエーション
観光

○ 実現したい将来の姿

- ・自転車であちをめぐる市民が増えて、まちへの愛着の醸成や健康づくりにつながります。
- ・本市の交通結節機能を活かすことで、太平洋岸自転車道でつながる渥美半島から浜名湖にかけての広域的な自転車観光の拠点となることが期待されます。
- ・太平洋岸自転車道を楽しむ人が、市内の観光スポットに立ち寄るようになります。
- ・自転車であちを楽しむ姿が伝わり、次第に「自転車×とよはし」の魅力が高まります。

活用 場面	事業 区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容	令和7年度実績		令和8年度予定		事業実施関係団体 担当課	事業実施関係団体 関係団体
						取組状況	目標及び達成状況	予定内容	目標		
④ レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ 観 光	安 全 教 育	①自転車イベントに合わせた安全教育の実施	4-1	イベント内での自転車交通安全利用の啓発	・イベントにおいて自転車に関する安全教育の実施や災害時の活用方法の周知を行う。	「とよはしトレジャーサイクリング2026」において、開始前に、安全な利用方法や災害時の活用方法の周知を行った。	—	継続実施	—	豊橋市(都市交通課) 豊橋市(安全生活課) カントリーモーニング	—
	意 識 啓 発	②自転車を楽しむ機会の充実	4-2	自然溢れるサイクリングロードでサイクリング体験	・小中学生を対象として、施設に隣接する豊橋田原自転車道を活用し、自然環境の中で、健やかな成長を育む機会及びチームワーク、目標を達成することにより達成感を味わうことができる体験を提供する。	①春 【開催日】4/12(土) 【講師】カントリーモーニング 【申込者】15人 【定員】10人(抽選) 【当日参加者】7人(3人欠席) ②秋 【開催日】11/16(日) 【講師】カントリーモーニング 【申込者】21人 【定員】10人(抽選) 【当日参加者】15人(6人欠席) ※申込者全員が参加できるよう、追加で自転車を用意した	—	継続実施	—	豊橋市(生涯学習課 少年自然の家)	カントリーモーニング
			4-3	デジタルサイクリングマップを利用したサイクリングイベント	・サイクリングをより快適に楽しむため、デジタル化した「はしってみ輪とよはし」サイクリングマップを活用したサイクリングイベント「とよはしトレジャーサイクリング2026」を開催する。	【開催日】3/14(土) 【申込者】63人 【定員】50人(抽選) 【当日参加者】34人(16人欠席)	—	継続実施	—	豊橋市(都市交通課)	—
			4-4	ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル	・「自転車×とよはし×観光」をテーマに、サイクルガイドツアーを開催し、近隣自治体を含む幅広い年代を対象として、自転車を軸とした楽しみの機会を創出するとともに、地域の魅力を発信することで、本市のブランド力向上および経済波及効果の最大化を図るプログラムを提供する。	①秋 【開催日】11/15,16 【参加者】47名(2日間合計) 【コース】道の駅とよはし拠点とした市内周遊コース ②春 【期間】2/28,3/1 【参加者】42名(2日間合計) 【コース】大清水駅拠点のサイクルトレイン利用伊良湖畔コース ※市外来訪者割合:約83%	—	・サイクルガイドツアーの実施(令和9年2-3月予定) ・実行委員会及びワーキングメンバーによるサイクルツーリズム先進地事例視察	—	(一社)豊橋観光コンベンション協会	・豊橋市(都市交通課) ・豊橋スポーツ協会 ・豊橋総合動植物公園 ・豊橋みどりの協会 ・日本トータ
			4-5	市民スポーツ祭	・競輪場のトラックでのタイムトライアル(400m、1km)を行う。 ・小学生の部から60歳以上のシルバーの部まで7つの部門で競い合う。	【大会名称】 市民スポーツ祭【2025】 【開催日】 7/27 【場所】 豊橋競輪場 【参加者数】 68人	—	継続実施 (7月12日予定)	—	豊橋自転車競技協会	・豊橋市 ・(公財)豊橋市スポーツ協会 ・愛知県自転車競技連盟 ・(財)日本自転車競技会中日本地区 ・(社)日本競輪選手会愛知支部
			4-6	とよはし・チーム・ピスト	・アマチュアの自転車愛好者にピスト競技の楽しさ、面白さなどを体験していただくとともに自転車競技の啓蒙普及を図る。	【大会名称】 第40回とよはし・チーム・ピスト 【開催日】 11/9 【場所】 豊橋競輪場 【参加者数】 14チーム 45人	—	継続実施 (11月上旬予定)	—	豊橋自転車競技協会	・豊橋市 ・(公財)豊橋市スポーツ協会 ・愛知県自転車競技連盟 ・(社)日本競輪選手会愛知支部
			4-7	クリテリウムロードレース大会	・万場調整池の管理用通路を周回コースとしてロードレースを開催する。	【大会名称】 第22回万場クリテリウムロードレース大会 【開催日】 9/21 【場所】 万場調整池 【参加者数】 ①エンデュロ 57チーム 165人 ②小学生ロードレース 8人	—	実施なし (アジア大会開催のため)	—	豊橋自転車競技協会	・豊橋市 ・豊橋市教育委員会 ・(公財)豊橋市スポーツ協会 ・独立行政法人水資源機構
			4-8	東三河サイクルマラソン	・レースではなく、交通ルールを守った自分のペースで安全に走る大会を開催する。	【大会名称】 東三河サイクルマラソン 【開催日】 10/5 【場所】 新城市・設楽町・東栄町地内 【参加者数】 98人	—	継続実施 (10月10日予定)	—	豊橋自転車競技協会	・東栄町 ・新城市 ・(公財)豊橋市スポーツ協会

令和7・8年度自転車関連実施事業

レクリエーション
観光

○ 実現したい将来の姿

- ・自転車でまちをめぐる市民が増えて、まちへの愛着の醸成や健康づくりにつながります。
- ・本市の交通結節機能を活かすことで、太平洋岸自転車道でつながる渥美半島から浜名湖にかけての広域的な自転車観光の拠点となることが期待されます。
- ・太平洋岸自転車道を楽しむ人が、市内の観光スポットに立ち寄るようになります。
- ・自転車でまちを楽しむ姿が伝わり、次第に「自転車×とよはし」の魅力が高まります。

活用 場面	事業 区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容	令和7年度実績		令和8年度予定		事業実施関係団体 担当課	事業実施関係団体 関係団体
						取組状況	目標及び達成状況	予定内容	目標		
④レクリエーション・観光	意識啓発	③サイクリスト受入環境の向上	4-9	サイクルツーリズムの推進	・道の駅「とよはし」でレンタサイクルの運営(専属スタッフの配置)、サイクリング関係消耗品の販売や、他地域のサイクリングに関する情報収集及び発信や観光案内を行う。	【道の駅レンタサイクル利用実績】 計106件 (内訳) ・4時間コース:40件 ・1日コース:66件	—	継続実施	—	農業企画課	・株式会社道の駅とよはし ・豊橋観光コンベンション協会 ・市内自転車関係事業者
			4-10	サイクルピット等の維持	・自転車の簡易なメンテナンスを行える場所として、市内の公共施設やコンビニなど、22箇所に設置しているサイクルピットの運用を行う。	サイクルピットの維持管理、自転車用工具や空気入れ等の貸出を行った	—	継続実施	—	豊橋市(都市交通課)	・豊橋市(文化課) ・豊橋市(スポーツ課) ・豊橋市(健康増進課) ・豊橋市(生涯学習課) ・豊橋市(美術・文化財課) ・穂の国健康パートナーズ ・道の駅「とよはし」 ・市内コンビニエンスストア
			4-11	工具ステーションの維持	・24時間自転車の簡単なメンテナンスができる工具ステーションとして、サイクリング発着地となる市内主要3か所(道の駅「とよはし」東側駐車場、豊橋駅南口駅前広場、りすば豊橋駐輪場)に設置している工具ステーションの運用を行う。	半年に1度ほどの職員による工具ステーションの状態確認を行った。	—	継続実施	—	観光プロモーション課	・豊橋市(健康増進課) ・穂の国健康パートナーズ ・道の駅とよはし
	支援・補助	④まち巡りを楽しむためのシェアサイクル利用の促進【新規】 ※【資料4】で補足説明	4-12	官民連携によるシェアサイクルの実証実験	・多様な交通手段の確保として、都市拠点や地域拠点などにおける回遊性向上などに寄与するシェアサイクルの活用に向けた実証実験を実施する。	公有地へのサイクルポートを設置する実証実験の実施に向け、シェアサイクル事業者と調整を行った。	—	継続実施 (実証実験の実施)	—	豊橋市(都市計画課)	シェアサイクル事業者
	情報提供	⑤サイクリング・ポタリングコースの情報提供	4-13	サイクリングマップの活用	・サイクリングマップ(紙・デジタル)の活用について、ホームページやイベントなどにより周知する。	・サイクリングアプリやサイクルコンピュータで活用可能なgpxデータを市HPで公開した。 ・「とよはしトレジャーサイクリング2026」イベントに活用した。	—	継続実施	—	豊橋市(都市交通課)	—
		⑥レクリエーション・観光情報の情報発信	4-14	【再掲】自転車利用促進リーフレット増刷	・市内の高校及びその附属中学校、自転車販売店等へ、自転車利用促進リーフレットを配付する。	・新入生(約3,600名)へリーフレット「豊橋CITY CYCLEスタートブック」を配付し、自転車通行の原則や注意事項、自転車利用のメリットについて周知した。	—	継続実施	—	豊橋市(都市交通課)	—

令和7・8年度自転車関連実施事業

活用 場面	事業 区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容	令和7年度実績		令和8年度予定		事業実施関係団体 担当課	事業実施関係団体 関係団体
						取組状況	目標及び達成状況	予定内容	目標		
⑤ 災害	意識啓発	①災害時を想定した日常での自転車活用の推進	5-1	防災講座等による災害時の自転車活用に関する啓発	・自転車活用推進計画と連携し、災害時の備えとして、自転車をいつでも利用できるように定期的に整備することや、災害時の自転車活用の必要性を啓発する。	災害時の適切な移動手段はその時の被災状況や住環境によって異なることから、非常時の移動手段の一つとして各自で考えるよう啓発した。 防災講座 ※防災講習会・防災訓練等を含む【開催数】328回 【参加者】53,776人	—	継続実施	—	豊橋市(防災危機管理課) 豊橋市(都市交通課)	—
	支援・補助	②災害時などの自転車の整備点検	5-2								
	情報提供	③防災啓発資料への自転車活用情報の提供	5-3	自転車関連イベント等による災害時の自転車活用に関する情報の提供	・災害時の備えとして、自転車をいつでも利用できるように定期的に整備することや、災害時の自転車活用の必要性について情報提供を行う。	「とよはしトレジャーサイクリング2026」において、開始前に、災害時の活用方法の周知を行った。	—	継続実施	—	豊橋市(都市交通課)	—

通行空間

○ 実現したい将来の姿

- 市内の中学校、高等学校、大学、企業、店舗などに安全・快適に移動できるようになり、自転車事故の減少や過度な自家用車からの転換が期待できます。
- 鉄道駅などに安全・快適に移動できるようになり、自家用車での送迎などが減少します。
- レクリエーションや観光、健康づくりなど、余暇で自転車が利用しやすく、楽しみやすくなります。

駐輪環境

○ 実現したい将来の姿

- サイクルアンドライドがしやすくなり、鉄道駅にアクセスする際の移動手段として、自家用車利用から自転車への交通手段の転換が期待されます。
- まちなか駐輪環境が向上することにより、中心市街地に自転車で訪れやすくなり、まちなかのにぎわい向上が期待されます。

活用 場面	事業 区分	施 策	整理 番号	事業名称	事業内容	令和7年度実績		令和8年度予定		事業実施関係団体 担当課	事業実施関係団体 関係団体
						取組状況	目標及び達成状況	予定内容	目標		
自転車活用を支える基盤づくり	【通行空間】の整備	①安全・快適な自転車ネットワークの整備 ※【資料5】で補足説明	6-1	自転車通行空間の整備(豊橋市)	・自転車ネットワークの整備 【優先整備路線 整備状況】(令和7年度末時点) ①日常利用 ・整備延長:31.5km ・進捗率:58.4%	市道 花中町・柱一番町1号線ほか約2.2kmの自転車ネットワークの整備を行った。	—	継続実施 (整備延長:L=1.0km)	—	豊橋市(道路建設課)	—
			6-2	自転車通行空間の整備(愛知県)	②余暇利用 ・整備延長:27.9km ・進捗率:45.8%	豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L=約0.2km)の工事を推進した。 ※令和7年度は上記のうち0.1kmを実施	—	・豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L=約0.2km)の工事完了 ・東赤沢植田線の自転車通行空間の設計	—	愛知県東三河建設事務所 道路整備課	—
		②自転車通学時の安全確保に向けた個別対策の実施 ※【資料6】で補足説明	6-3	自転車通学時の安全確保に向けた個別対策の実施	・自転車の歩道通行が通学路の安全を損なっている区間について、個別対策として自転車通行場所の明示ができる仕組みを検討し、区画線設置などと合わせて整備を行う。	具体的な整備箇所の検討に至らなかった。	—	継続実施	—	豊橋市(道路維持課)	・豊橋市(都市交通課) ・豊橋警察署 ・関係中学校 ・関係校区自治会
	【駐輪環境】の整備	①サイクルアンドライド駐輪場駐輪環境の向上	6-4	サイクル&ライド駐輪場の整備	・路線バスの駐輪場の整備を検討(サイクル&バスライド)	バス停周辺の整備検討箇所について、地権者との交渉を行った。	—	継続実施	—	豊橋鉄道 豊橋市(都市交通課)	—
		②まちなかにおける駐輪環境の向上	6-5	自転車等駐車場管理運営事業	・指定管理者制度による豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)の管理・運営を行うとともに、長寿命化計画に基づく施設修繕を行う。	・豊橋駅西口地下エリアエスカレーター駆動機器を更新した。 ・豊橋駅東口地下エリアサイクルコンペアの修繕を行った。 ・二川駅南口東エリア精算機のシステム改修を行った。	—	継続実施	—	豊橋市(土木管理課)	(株)日本メカトロニクス